

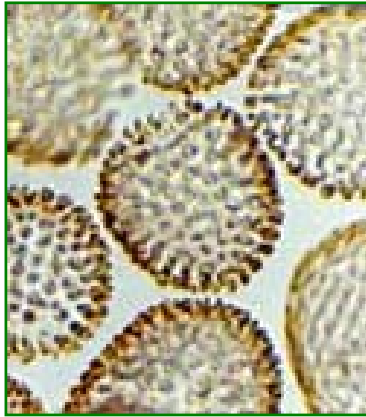
瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第10報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成14年6月3日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Bosmina longirostris
(ゾウミジンコ)
甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い。ためゾウミジンコと呼ばれている。

コメント

ウログレナの細胞数は先週よりも減少した。本年度のウログレナの出現は、6月に入り消滅時期をむかえていると考えられる。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Bosmina longirostris</i>	80

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪 虫 類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	60

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成14年6月3日

第10報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	660		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i> f. <i>spiralis</i>	28		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	340		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	16		
(珪) <i>Synedra acus</i>	9		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	60		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	9		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	120		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	5		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	660	49.0	8.4
(珪) 珪藻綱	393	29.2	7.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	11.9	9.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	134	9.9	75.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1347	総体積 (μm^3)	2.01E+06
種 類 数	10		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)
ただし*印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。